

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	今後の取り組み
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	広い活動空間を確保している	・スケジュールの掲示方法や内容の見直しを行い、子どもたちがよりわかりやすく情報が得られるように工夫を行う。新年度、新規の児童でも見通しを持ち安心して過ごせるように構造化の見直しも行っていく。
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	基準以上の職員を配置している	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、特性に依り、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	70%	30%	視覚支援をもっと進めたい 個別には絵カードなどの視覚情報を用いて支援を行なっているが、生活空間の中で工夫はまだできることがある スケジュールの掲示はしているが、発達段階に応じた工夫が必要。文字を減らし、写真を増やす。時間をわかりやすくする等の改善が必要	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	毎日館内の清掃を行っている 感染症対策で、不特定多数の人が触れるものは清拭を行なっている	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	終礼の時にクラスに関わりなく、みんなで話し合いを行なっている	・終礼の話し合いのあり方については、見直しを行いながら取り組んできている。まだ十分に意見交換や検討が足りていない部分もあるため、引き続き、話し合いや検討のあり方について職員間で見直しを行いながら全体で支援の質を高めていく  ・引き続き、研修生や実習生、視察者の受け入れを進めていく  ・研修等の参加を促したり、事例検討会を活発に行なっていく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	アンケートを実施している。 コドモン等のICTを活用した保護者とのコミュニケーションも進んできている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	事業所の掲示板やホームページに掲載している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	視察の方や研修・実習生の受け入れをしている。その際に感想などをいただくようにして、職員全体にフィードバックをしている	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	専門分野の方から学ぶ場を設けている。来年度ももっと勉強がしたい。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	会議などで相談支援専門員や関係機関の職員と情報交換をしたり、面談などで保護者とも情報交換を行なっている ライフサポートブックを活用し、生活全体の聞き取りも行なっている	・ガイドラインの内容について再度確認を行い、5領域を意識した支援の実施を心がけていく ・レーダーチャートの活用も引き続き行なっていくながら保育所や学校との連携に活用する。  ・始業前の情報共有については、日によって送迎の関係で十分な情報共有ができていないことがあったため、送迎後などに必ず情報共有を行い支援に入るようにする。ICTを活用した情報伝達も行っていく。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	レーダーチャートの活用が進んでいる。関係するこども園との連携場面にも活用していきたい。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	児童発達支援や制度について深く知れるように勉強をしていく 毎日利用する児童もいるが、支援がおさざりにならないように、一人ひとりの成長や課題を共有し、支援内容を更新する為にも、日々の話し合いを大切に、支援計画も、モニタリングで保護者と情報を共有しながら振り返り更新している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	計画で示した目標等を基に個々の発達段階に合わせた支援を行なっている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	活動内容については、各クラス毎に担任同士で話し合い決めていく。終礼等で振り返りを行い実践に繋げている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	クラスによっては、固定化することで見通しや安心感を持って参加できている子どももいるため、子どもたちの状態に応じて対応している	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	個別及び集団での様子。保育所での様子等も含めて計画の作成を行なっている	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	90%	10%	送迎の関係でできない日があった 業務時間内に支援の振り返りや活動内容の検討をしている クラス内でその日のこどもの姿や、どのように関わってくださったかを共有した上で次回どうするかを話し合い、決まったことを共有し一貫した支援ができるように努めている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	毎日終礼を行い、振り返りの中で反省や成長が見られた点などを共有し、次の支援に繋げている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	コドモンを用いて記録し、職員全体が把握できるようにしている。また、見返しやすいため、有効に活用できている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	半年に1回モニタリングを行なっている。 相談支援専門員とも連絡を取り合い、情報の共有をしている		
21 相談支援事業所のサービスマン会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	90%	10%	可能な限り参加しています。できない場合は引き継ぎを行なっている 基本的には児童が参加をしているが、クラス担任も参加できる時には参加するようにしている。	・支援会議等には今後も児童発達支援管理責任者だけでなく、クラス担任や関係する職員の参加を進め、様々な職員が地域関係機関の方々と繋がりができるようにしていく	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	日頃から保健師さんと互いに連絡を取り合い、役割分担もしながら協力して取り組む体制ができていると思う		

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0%	0%	対象児童がいない	<p>・コロナの影響も薄まり訪問支援に出向く機会も増え、地域関係諸機関との連携も以前のように取り組みやすくなってきている。来年度も訪問に出向く機会を増やし、地域と協働した支援を行なっていく。</p> <p>・学校への接続支援において、学校と連携して就学前に学校に慣れるための時間を確保し、安心して入学を迎えることができたという事例もみられたので、来年度も引き続き学校や教育委員会等と連携し、保護者や子どもが安心して就学を迎えられるように接続支援に力を注いでいく。</p> <p>・自立支援協議会等も活用しながら、近隣の通所支援施設と連絡を取り合う機会を作っていく。</p>
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0%	0%	対象となる児童はいるが、熱性けいれん等の心配がある児童については、迅速かつ適切な対応ができるようにクラス内で情報は共有している	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	訪問支援を通じて情報交換をしている会議に招集された際には出席し情報共有を行ったり、相談員とも連携して会議を開催するなど、関係機関との情報共有に努めた	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	90%	10%	就学予定の学校に交流で行き、入学前から学校になれる機会を作ることができた会議に出席したり、就学予定の学校に児童を連れて交流に行く機会を今年には作ることができた。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	90%	10%	他機関との連携がもっとできればよかったと思う。地域に他の児童発達支援事業所がないため、連携する機会があまりない。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、子どもと活動する機会があるか	90%	10%	併行通園している児童が多いのでほとんどの児童が保育所と併行通園しながら利用している	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	90%	10%	管理者が参加をしている。機会があれば参加をしてみたい	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	コドモンを使ってやりとりを行うこともできている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	100%	0%	親グループでの情報交換の時間がある	
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	面談時に保護者様に説明をして同意を得ている	
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	週に1回、臨床心理士を中心に親グループでの話し合い、情報交換ができる場を設けている。その都度、臨床心理士からのアドバイスを保護者にしている。	・コドモンを導入して以来、こどもの様子が以前よりも伝わりやすくなり、連絡もとりやすくなったと好評を得ている。引き続き保護者とのコミュニケーションが密に簡単にとれるようICTの活用を進めていく。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	行事の際に連絡会を開催している。	
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	管理者や児童発達支援管理責任者が対応している。主任や児発管に相談・報告をする仕組みを職員全体に周知している	
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	毎日コドモンにて子どもの様子や成長、関わりを保護者に共有。行事の様子は年4回のお便りを発行している。	
38		個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	施錠のできる棚に書類を保管している USBメモリの使用は一切禁止にしている	
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	コドモン (ICT) を活用することで、スマートフォンで情報を受け取れるようにしている。簡単な相談もコドモンで対応している。	
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	90%	10%	地域の方と交流する機会はあまりないが、公園などの社会資源を利用したり、行事の時には兄弟児も招いている。もっと開けた場になるよう努めていきたい。	
非常時等の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	まだ十分に周知ができていないため、年間を通じてお知らせしていく。(行事などでもその都度知らせしていく)
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	避難訓練等を毎月実施している	・服薬やアレルギー等、命に関わる情報は面談時にしっかりと確認をして周知している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	利用前の面談時に確認をしている	・小さな怪我であっても必ず報告書を作成し全体共有をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	保護者に確認し、必ず指示書をいただくようにしている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	ヒヤリハット、小さなけがなども全て報告書を作り職員間で周知をしている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	研修に参加している 倫理綱領を唱和している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	身体拘束は行わない 対象となる児童がいる場合には事前に説明を行う	